

美唄市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

人口の減少や自家用車が普及したことにより、バス利用者が減少を続け、収支の悪化から路線の維持確保が困難な状況です。一方で市の全域で高齢化が進み、また、交通空白地帯を多く有していることから、バス路線の維持確保が喫緊の課題となっています。

市民バス東線においては、平成24年に循環方式にし、利用者の利便性の向上を図ったり、乗車密度が極めて低いアルテピアッツァ美唄以東の区間を乗合タクシーにするなど、経費の縮減に努めています。また、西側地区においては、3方面の乗合タクシー（週2回、火・金曜日1日3便）を運行し、農村地区居住者の通院、買い物等の地域の足として寄与しています。

さらに、JRや中央バス滝川～岩見沢間との接続に考慮したダイヤとすることで、市外への買い物や通院にも便利な交通網としています。

生活交通確保維持改善計画の目標

1. 市民バス東線

(1) 1人当たりの利用回数2%改善 3.90回／人

2. 乗合タクシー

(1) 盤の沢・我路方面：1人当たりの利用回数2%改善	7.34回／人
(2) 日東・茶志内方面：1人当たりの利用回数2%改善	6.55回／人
(3) 西美唄・開発方面：1人当たりの利用回数2%改善	6.89回／人
(4) 中村・沼の内方面：1人当たりの利用回数2%改善	4.59回／人

令和3年度事業概要

○市民バス（循環方式）運行事業

○乗合タクシー（デマンド型）運行事業（盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、西美唄・開発方面、中村・沼の内方面）

地域公共交通の現況

- JR函館本線：美唄駅、峰延駅、光珠内駅、茶志内駅
- 北海道中央バス（株）：市内2路線
- 美自校バス（株）：市内1路線
- 市民バス：市内5路線
- スクールバス：市内12路線
- 乗合タクシー：市内4方面

協議会開催状況

令和3年6月17日令和3年度第1回協議会を書面協議にて開催
主な協議事項：決算、予算、監査報告、フィーダー系統確保維持計画（案）について

令和3年12月22日令和3年度第2回協議会を開催
主な協議事項：美唄市地域公共交通計画（素案）について

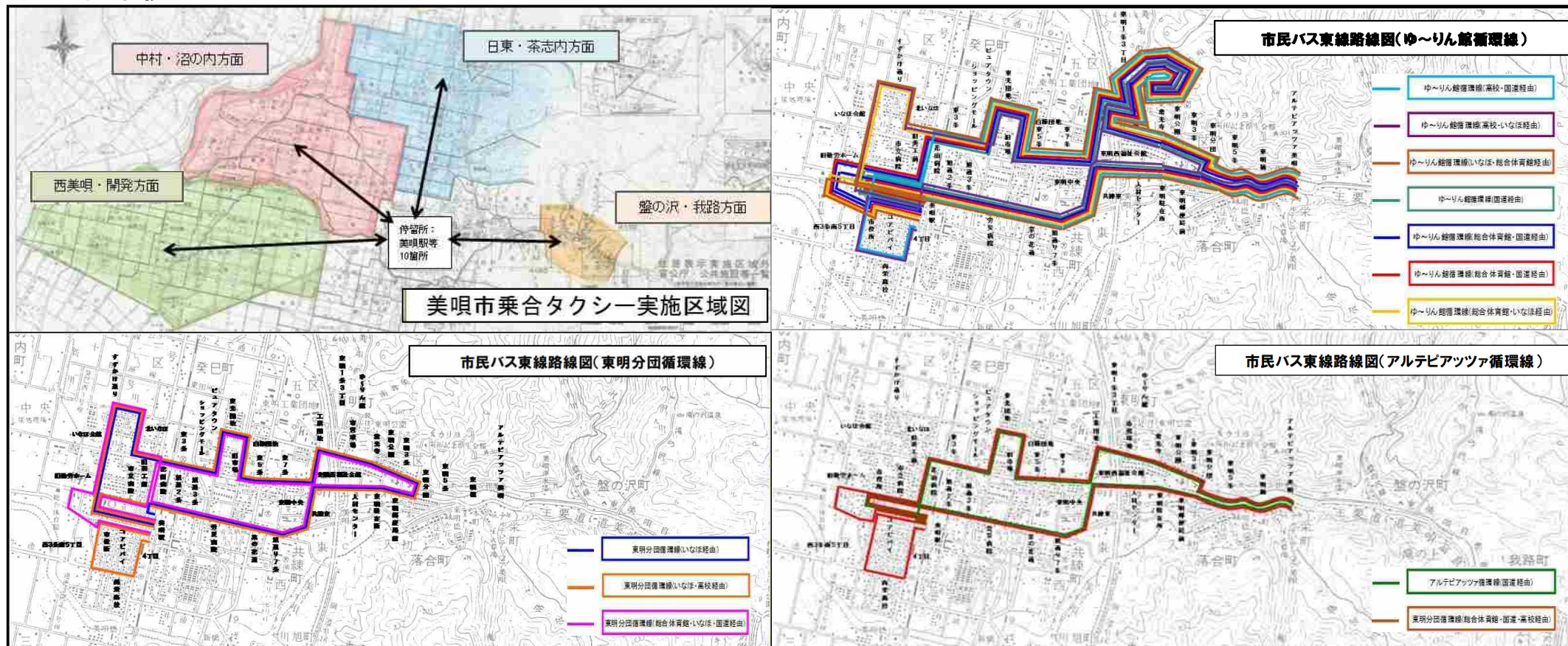
令和4年1月14日令和3年度第3回協議会を書面協議にて開催
主な協議事項：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

令和3年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- H24. 10～ 市民バス東線を循環方式で運行開始。盤の沢・我路方面で乗合タクシー本格運行を開始。
- H26. 4～ 西側3方面で乗合タクシーの本格運行を開始。
- H27. 7～ 無料バス利用者アンケートを行い、無料送迎バスと市内路線の一元化を検討。
夏と秋に乗降調査を行い、利用者数の少ない系統や時間帯の便などを検証。
- H28. 9～11 美唄市地域公共交通網形成計画の実施に伴い、市内のバス路線がどのように変わるのかを説明する住民説明会を開催。
- H29. 10～11 市民バス東線及び南美唄線の路線を変更し、実証運行を実施。
- H30. 10～11 市民バス東線及び南美唄線の路線を変更し、2回目の実証運行を実施。アンケートや意見交換会の結果、市民バス東線については新しい停留所の設置と利用の無かった停留所の廃止、利用の多かった便を増便、南美唄線については現行通りの路線で運行。
- H31. 4～ 市民バス東線、本格運行を開始
- R 1. 10～ 市民バス料金改定(200円から230円)
- R 2. 2～ 乗合タクシー利用料金の値上げ(25%)
- R 3. 4～ 乗合タクシー利用料金の値上げ(25%)

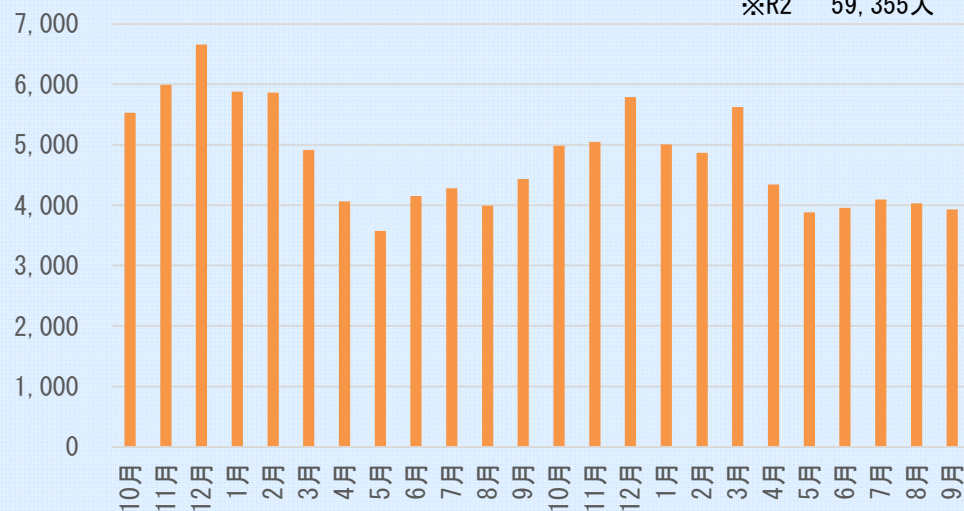
2) 運行系統



3) 利用実績

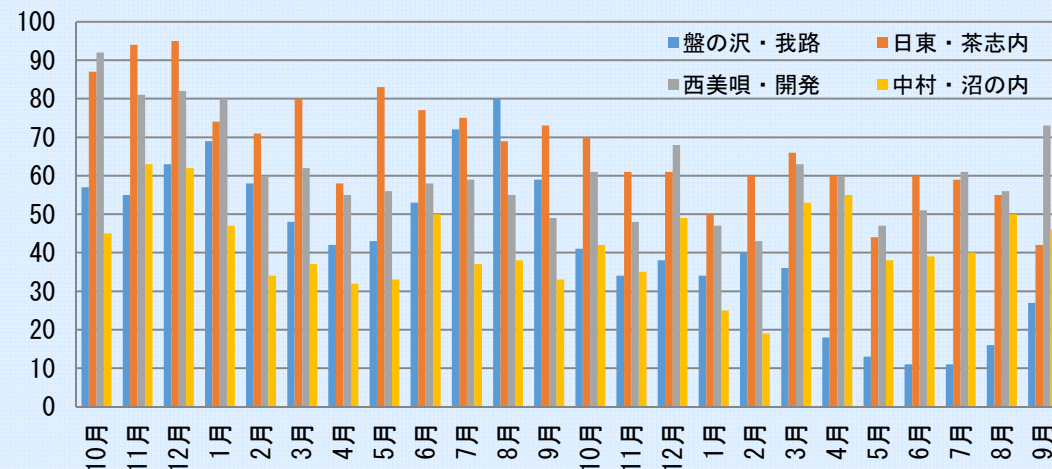
市民バス東線輸送人員(人)

※R3 55,557人
※R2 59,355人



乗合タクシー利用人数(人)

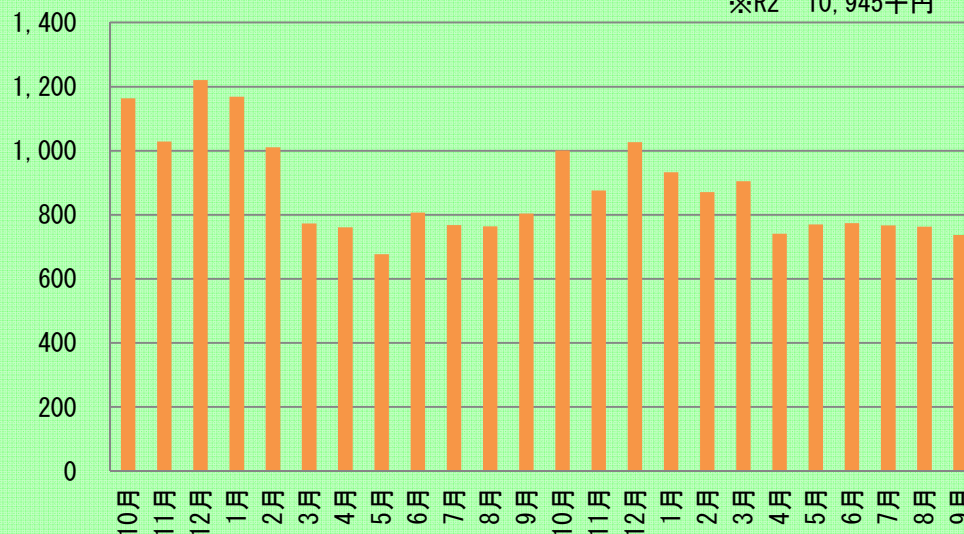
路線	※R3	※R2
盤の沢・我路	318人	699人
日東・茶志内	689人	923人
西美唄・開発	678人	789人
中村・沼の内	489人	512人



4) 収入実績

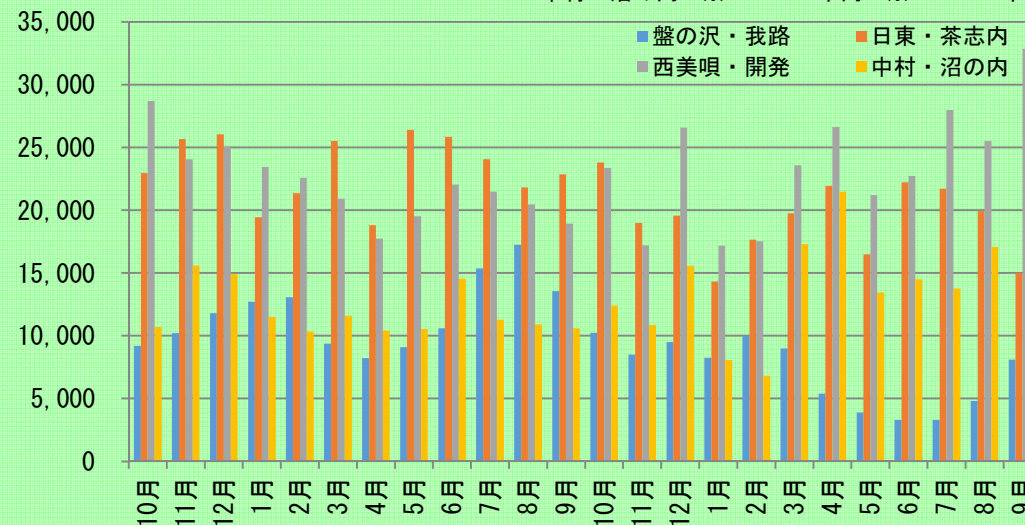
市民バス東線運賃収入(千円)

※R3 10,165千円
※R2 10,945千円



乗合タクシー運賃収入(円)

路線	※R3	※R2
盤の沢・我路	85千円	140千円
日東・茶志内	210千円	255千円
西美唄・開発	257千円	240千円
中村・沼の内	168千円	142千円



5) 事業実施の適切性

1. 市民バス東線：計画どおりに運行している。
2. 乗合タクシー
 - (1) 盤の沢・我路方面：計画どおりに運行している。
 - (2) 日東・茶志内方面：計画どおりに運行している。
 - (3) 西美唄・開発方面：計画どおりに運行している。
 - (4) 中村・沼の内方面：計画どおりに運行している。

6) 目標・効果達成状況

1. 市民バス東線

目標数値3.90回／人に対し、3.83回／人となり、目標数値を下回った。
目標未達成の理由としては、コロナ禍における医療機関の受診控え、外出自粛等によるものと考えられる。

2. 乗合タクシー

(1) 盤の沢・我路方面

目標数値7.34回／人に対し、5.23回／人となり、目標数値を下回った。
目標未達成の理由としては、コロナ禍における医療機関の受診控え、外出自粛、乗合という密を避ける行動によるものと考えられる。

(2) 日東・茶志内方面

目標数値6.55回／人に対し、5.46回／人となり、目標数値を下回った。
目標未達成の理由としては、コロナ禍における医療機関の受診控え、外出自粛、乗合という密を避ける行動によるものと考えられる。

(3) 西美唄・開発方面

目標数値6.89回／人に対し、6.28回／人となり、目標数値を下回った。
目標未達成の理由としては、コロナ禍における医療機関の受診控え、外出自粛、乗合という密を避ける行動によるものと考えられる。

(4) 中村・沼の内方面

目標数値4.59回／人に対し、5.64回／人となり、目標数値を上回ったが、要因としては、目標設定時に登録はしていたが、利用していなかった人が、直近になって利用を始めたことが考えられる。

7) 事業の今後の改善点

1. 市民バス東線

市街地におけるバス路線の重複状況や多数の系統によりバス路線が複雑化しており、また、利用者からは増便を求められていることから、分かりやすく利用したいときに利用できる、高い利便性を有した、効率的な運行を検討する。

2. 乗合タクシー

乗合タクシーの運行区域外で、地域住民の高齢化、免許返納等により交通空白地域が存在する状況となってきたことから、運行エリアの再編、運行形態の見直し、他事業者の参画などを検討する。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかったことはやむを得ない面があるものの、このままの利用水準では、系統によっては補助対象外となってしまう可能性もあるため、現在見直し策定中の地域公共交通計画において、利用者ニーズにあった交通体系の検討・構築を期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することにもご検討いただきたい。